



# 衣類のエシカル消費講演会を開催しました!

1月29日、市役所4階大会議室にて、ライフオーガナイザーで整理収納アドバイザーである、片付けのプロの竹内真理さんを講師としてお招きし、エシカル消費講演会「自分に合った方法で“捨てなくても片付く”服のお片付けのお話」を開催しました。

講演会では、服を作る過程での多大な環境負荷、服の生産量が20年間で約4倍になっていること、寄付やリサイクルするにも限界がきていること等を学び、これらの問題は、私たちの消費行動の結果であることを知りました。

竹内さんからは「捨てないクローゼットをつくるために、買い方を変える。そのために片付けを行う。大切なモノを意識して分けることからはじめ、自分の消費傾向について考えましょう。」という助言がありました。また、「利き脳」によって適した収納方法があると説明を受け、「利き脳診断」を参考にし自分に合った収納方法を決め、自分にとって心地よいバランスになるよう片付けることが大切であることを学びました。

参加者の方からは、「自分に必要なものを理解し、一着一着、大切に使うことを意識したい」「消費行動の改善のヒントになった」「“バタフライエフェクト(小さな事こそが世界を変える原動力となる)”を意識し、小さな事からでも自分事として取り組むことが大切ということが分かった。」という感想をいただき、エシカル消費について学び、実践につながる貴重な機会となりました。

11 住み続けられる  
まちづくりを12 つくる責任  
つかう責任13 気候変動に  
具体的な対策を

## 再資源化にご協力ください! 雑がみ保管袋を配布します!

資源として再利用できるのに、燃えるごみとして出されがちな「雑がみ」の分別を、市民の皆様積極的に行っていただくため、「雑がみ保管袋」を配布します。

**配布時期** 3月中 **配布方法** 各世帯の郵便受けへ投函

「雑がみ」を分別し、資源化することにより、可燃ごみの減量化、CO<sub>2</sub>の削減などにつながります。

小松島市では、持続可能な社会の形成に向けて取り組んでいます。ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



### 雑がみ保管袋の使い方

※雑がみ保管袋は繰り返しご使用ください。

1. 雑がみ保管袋をごみ箱の横や、資源物置き場など、家の中の自分で分別しやすい場所に置く。
2. 雑がみを保管袋に入れていく。
3. 雑がみがたまったら、保管袋の中の雑がみを出し、次のどちらかの方法でまとめる。
  - ① 雑がみだけを束ねて、ひもでしばる。
  - ② 雑がみだけを別の紙袋や封筒に入れて、ひもでしばる。(あらかじめ保管袋に別の紙袋を入れておくのも可。)
4. まとめた雑がみを、「雑誌類」の収集日に出す。

「雑がみ」の分別の詳細については市ホームページ「雑がみを分別してリサイクルしましょう!」をご覧ください。



☎ 市市民環境課

☎ 32・2147/FAX33・2234

✉ kankyouseisaku@city.

komatsushima.i-tokushima.jp